様式１

平成　27 年　2 月　23 日

PRESS RELEASE

国立大学法人
徳島大学

遺伝医療充実のための遺伝カウンセリング研修会の四国地区での開催

平成 26 年度から，最近注目されることの多くなった遺伝医療を適切に行っていく上で欠かせない「遺伝カウンセリング」のさらなる質の向上と全国への普及を目指して，専門医の研修会が全国 14 か所で始まりました。四国地区での研修会開催は，徳島大学が担当します。

一昨年前に始まったいわゆる新型出生前診断，同じ年に米国女優の報道で話題になった遺伝性乳がんの診断，そして最近の着床前診断に関する報道など，最近，「遺伝子検査」という言葉をよく耳にします。医療の場でも遺伝子の情報が必要となる場面が増加しています。生涯変化せず将来の健康状態を予測できる可能性があり，血縁者にも影響を与えうる遺伝子の情報を適切に医療の場面で用いていくためには，医療を受ける側がその内容をよく理解して自ら判断いただくことを支援する「遺伝カウンセリング」という医療行為の中で扱われる必要があります。

日本人類遺伝学会と日本遺伝カウンセリング学会では，医師を対象とした「臨床遺伝専門医制度」と非医師を対象とした「認定遺伝カウンセラー制度」により，遺伝カウンセリング担当者を養成してきましたが，平成 26 年度より，遺伝カウンセリングのさらなる質的向上と全国への普及を目的として，「遺伝カウンセリングロールプレイ（GCRP）研修会」を北海道から九州まで全国各地 14 箇所で行うことになりました。四国地区では，遺伝医療に取り組んできた歴史の長い徳島大学が GCRP 研修会を担当し，平成 27 年 2 月 28 日に徳島市で開催いたします。

研修会では，架空の事例について，経験の少ない専門医等の参加者 5～6 名のグループ毎に遺伝カウンセリング担当者役，相談者（クライエント）役，オブザーバーに分かれて模擬の遺伝カウンセリングを行います。各グループには，2 名のファシリテータ（臨床遺伝専門医または認定遺伝カウンセラーとして経験の豊富な方）を配置し，研修が円滑に進むようにします。あくまでも架空の事例ですが，全国同一のプログラムで参加者とファシリテータがよりよい遺伝カウンセリングのあり方について検討し，そのめざすところの共通認識と標準化を図ると共に，遺伝カウンセリングの全国的普及や質の均等化を目指します。

今年度が初めてとなるこのような全国的な試みを通して，まだまだ一般的とはいえない遺伝カウンセリングを医療の場に，より浸透させ豊かな未来に繋げるための私たちの取組を広く報道していただきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先
部局名　徳島大学病院
責任者　病院長　安井　夏生
担当者　遺伝相談室室長　井本逸勢
電話番号　０８８－６３３－７０７５
メールアドレス issehgen@tokushima-u.ac.jp

770-8501
徳島市新蔵町2丁目24番地
Phone.088-656-7021
Fax.088-656-7012
http://www.tokushima-u.ac.jp